



【Check - 評価】

(1) 前年度評価シートの改善内容の実施状況

平成19年度の改善予定	平成19年度の改善結果
バス事業者との打ち合わせなど、情報共有等を行う。	バス事業者との打ち合わせなど、情報共有等を行った。

(2) 事務事業の評価

評価の視点	評価のポイント	評価	理由
妥当性	事務事業を実施する必要があるのか	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当である <input type="checkbox"/> あまり妥当ではない	町民及びバス利用者の利便性向上を図る必要があることや、寒川駅周辺を町の玄関口と位置づけるなど、駅周辺整備にも関連するものであるため。
	町が主体となって実施する必要があるのか	<input checked="" type="checkbox"/> 町が行わなければならない <input type="checkbox"/> 町が行った方がよい <input type="checkbox"/> 町が行うべき必然性が低い	寒川駅周辺を町の玄関口と位置づけるなど、駅周辺整備にも関連するものであり、また不採算バス路線の撤退に伴うものであるから民間事業者での実施は困難であるため。
有効性	対象者の満足度や事業の達成度はどうか(成果指標の状況)	<input checked="" type="checkbox"/> 十分成果が上がっている <input type="checkbox"/> 成果は十分とはいえない <input type="checkbox"/> 成果は上がっていない	寒川駅の南側を走る既存のバス路線については、駅北口周辺の整備事業が完了することによりバス路線の増加が見込めるため。
効率性	事業費に無駄はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切だが改善の余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない	賃貸借料については固定資産税評価額等をもとに算出しているため。

【Action - 改善】

(1) 事務事業を進めていく上での課題、解決に向けての改善内容

	課題	平成20年度	平成21年度以降
妥当性			
有効性	寒川駅北口地区周辺整備事業の整備状況と合わせ、既存バス路線の再編の検討を行う必要がある。	バス路線の延長等、バス事業者と情報共有等を行う。	バス路線の延長等、バス事業者と情報共有等を行う。
効率性			

(2) 事業の今後の方針(課長による評価)

活動指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input checked="" type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	地域住民の公共交通の確保や利便性の向上、町の玄関口としてのあり方を固めるためには打ち合わせ等が必要であり、開催回数としても妥当であると考えため。
成果指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input checked="" type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	駅北口の整備状況の進捗にもよるが現状からは適切な値であると考え。
事務事業の方向性	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・廃止・終了 <input type="checkbox"/> 統合
理由・内容	町が転回場を確保することや駅北口地区の周辺整備事業等の状況も加味して進めていくやり方は、妥当であると考えため。

部長確認	木村俊雄	確認日	2008/10/15
------	------	-----	------------